

カラオケは生涯学習



2004.10.1
VOLUME

11

カラオケ使用者連盟は、生涯学習の場としてのカラオケ施設利用の促進を行います。

我々カラオケ店は、日本が世界に誇る「カラオケ文化」発信の担い手です。今直面している問題、解決すべき問題を皆で団結して考えましょう。

発行/カラオケ使用者連盟

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-11

目黒西口マンション2号館503

TEL 03-3495-5695 FAX 03-3495-5694



ご祝辞を賜った
文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課係長
川野浩章様



ご祝辞を賜った
全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会専務理事
町田宏之様



ご祝辞を賜った
(社)日本音楽著作権協会常任理事
加藤正彦様



挨拶に立つ当連盟
谷本征治理事長

カラオケ使用者連盟 平成16年度通常総会を開催

去る平成16年5月19日（水）、弘済会館（東京都千代田区）において平成16年度通常総会が開催されました。

毛利泰介常務理事が開会の挨拶に立ち、昨年度の活動内容について述べ、当連盟の活動に期待する関係各位の言葉を披露。議長には谷本征治理事長が選任され、議事進行にあたりました。平成15年度事業報告、同収支決算報告並びに監査報告、平成16年度事業計画案、同予算案といった4議案全てが原案を承認。総会は、塩月春生理事の閉会宣言により無事終了致しました。

総会後には懇親会が催され、ご来賓に文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課・川野浩章様、全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会専務理事・町田宏之様、社団法人日本音楽著作権協会常任理事・加藤正彦様から来賓をお招きし、参集した代議員らとともに、“カラオケ文化”および“生涯学習”について語り合う一時を持ちました。

※議案の詳細については、次ページ以降を参照下さい。



全国11エリアで平成16年度エリア通常総会が開催

東京での通常総会に前後して、5月11日（火）東北エリアから6月14日（月）関東エリアまで、全国11エリアでエリア通常総会が開催されました。

各会場では、平成15年度活動報告、同収支決算報告並びに監査報告、平成16年度事業計画案、同予算案について、各エリアの意見を交えながら、組織運営の骨子を固めました。

平成15年度事業報告

【概要】

昨年5月の総会で掲げた事業計画を基に、全国レベルで組織の強化と拡充を第一の目標として活動してまいりました。主な内容としては、カラオケオペレーターの全国団体である「全国カラオケ事業者協会」の協力を得て、カラオケ設置店に対する加入促進活動を展開いたしました。

活動としては「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」「カラオケを通じた文化振興活動の推進」をテーマに掲げ各種文化事業に着手。文部科学省生涯学習政策局のご指導を仰ぎながら『第15回全国生涯学習フェスティバル/まなびピア沖縄2003』に参画し、更に参加事業として『まなびピア沖縄カラオケ大会』を当連盟主催で開催いたしました。本活動では、これまでの生涯学習振興並びに生涯学習フェスティバル等行事参加活動の功績が認められ、文部科学省より文部科学大臣感謝状の交付を受けました。

また、共に団体を構成する社交場の環境衛生と社会基盤を目的に、全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会（以下「全社連」）と相互交流を行い、音楽著作物使用料の団体割引（2割引）を望む当連盟会員を、全社連の賛助会員に登録することにより団体割引適用を可能としております。

●組織の拡充

カラオケ設置店の全国組織として強固な基盤作りが急務であると考え、カラオケオペレーターの全国団体である「全国カラオケ事業者協会」の協力を得て、加入申込の促進を図りました。また、既存会員に対する名簿の再整備を実施し、連絡体制の強化を実施いたしました。

●広報活動

当連盟の活動報告と共に、会員の意思疎通を図ることを目的に機関紙を作成。第9号を平成15年11月1日、第10号を平成16年2月20日に全会員に配布しました。

また、昨年度同様、加盟店への「生涯学習の場としての施設利用促進」の啓蒙と、カラオケ使用者連盟への参加意識を向上させるため、加盟店の証となる扉貼付用シールを、新規入会の会員へ配布しました。扉貼付用シールには利用顧客に對して当連盟加盟店であることを告知し、安心して生涯学習の場として利用できる店舗であることを知らせる意味合いが込

められております。

●事業推進

平成15年11月27日～12月1日、文部科学省が各都道府県と共催で毎年行っている、第15回全国生涯学習フェスティバル『まなびピア沖縄2003』に参加、沖縄県を舞台に行われたこの催しにカラオケ体験コーナーを設置し、期間中子供からお年寄りまで幅広い層に生涯学習としてのカラオケの利用とその施設利用を提案しました。

更に、“まなびピア”参加事業として、11月27日、『まなびピア沖縄カラオケ大会』を開催いたしました。これは、カラオケ体験コーナーを一步進めたもので、既にカラオケを生涯学習として楽しまれている方に発表の場を提供し、広くその裾野を広げることを目的として実施しました。

また、『まなびピア沖縄2003』参加においては、これまでの生涯学習の振興並びに生涯学習フェスティバル等行事参加活動の功績が認められ、文部科学省より文部科学大臣感謝状の交付団体に選ばれました。平成15年11月27日に執り行なわれた交付式において、感謝状を受理いたしました。

●著作権啓蒙活動

大会希望店舗に対する“音楽著作権利用許諾契約”有無確認の後、未契約店に對しては、著作権啓蒙およびJASRACパソネットの送付を行っております。年1回開催のエリア総会において“著作権手続説明会”を実施し、会員および非会員の参加を促し、著作権の啓蒙活動を行いました。また、年2回発行の「カラオケ使用者連盟機関紙」においては、著作権に関する記事・チラシを掲載・同封いたしました。

平成15年度決算書

（自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日）

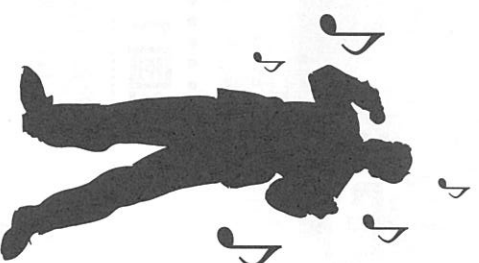
【収入の部】	科目	決算額	備考
1.会費収入	入会金	20,885,300	新規入会店舗 1,135店舗
	正会員費	567,500	有効店舗 6,150店舗
2.その他収入	預金利息	20,317,800	
	事業収入	5,109,446	預金利息・事業収入
3.当期収入合計		25,994,746	

【支出の部】	科目	決算額	備考
1.事業費	1) 会議費	8,301,421	総会・理事会他
	2) 旅費・交通費	424,753	宿泊費・交通費
	3) 広報費	568,205	機関紙発行
	4) 組織強化費	582,750	啓蒙チラシ
	5) 事業推進費	525,000	生涯学習フェスティバル/カラオケ大会
	6) 賛助会費	1,403,197	賛助会費支払い額
	7) 雑費	4,797,516	
	8) 役員給与手当	7,810,361	
	9) 福利厚生費	4,200,000	本部事務所員
2.一般管理費	1) 福利厚生費	21,600	
	2) 事務用品費	300,042	一般事務用品
3.当期支出合計	4) 消耗品	65,106	
	5) 通信費	2,039,850	電話料金・郵送料
	6) 印刷費	1,78,500	名刺他
	7) 渉外費	41,990	慶弔費他
	8) 運送費	118,208	
	9) 諸支出金	845,065	振込手数料他
	4.当期収支差額	16,111,782	
	5.前期末繰越額	9,882,964	
	6.次期末繰越額	▲2,210,405	
		7,672,559	

●他団体との折衝

共に団体を構成する社交場の環境衛生と社会基盤の向上を目的に、全社連と相互交流を行っております。

既に音楽著作物使用料の団体割引適用団体である全社連の協力により、音楽著作物使用料の割引を望む当連盟会員各位を、全社連の賛助会員として登録することにより、団体割引の恩典がもたらされます。当連盟としては、全社連の組織拡大大および全社連が推進する著作権啓蒙活動に協力して参ります。



平成16年度事業計画

1. 事業指針

- (1) 昨年度に引き続き、組織の強化と拡充を目標に掲げ、カラオケ設置店の全国組織としての強固な組織基盤を構築する。
- (2) 「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」「カラオケを通じた文化振興活動の推進」をテーマに事業を展開する一方、会員店舗の活性化にながらるる催しを企画し実行する。
- (3) また、「カラオケ使用者を取り巻く諸問題の解決」について継続検討を行い、団体としてその解消に努める。

2. 事業計画

- ①各エリア理事並びに都道府県会長が中心となり、未組織県の解消を図る。
- ②カラオケオペレーターの全国団体である「全国カラオケ事業者協会」の協力を仰ぎ、新規会員の拡充を図る。
- ③全国組織の利点を活かした組織運営の在り方を研究し、組織運営上の連携を更に密なものとする。
- ④「生涯学習の場としてのカラオケ施設

利用促進」「カラオケを通じた文化振興活動の推進」をテーマに、「第16回全国生涯学習フェスティバル/まなびピア愛媛2004」に参画する。

- ⑤会員店舗の活性化につながる催しを企画し実行する。
- ⑥関連団体と情報交換を行い、主旨を同じくする事業に協賛する。
- ⑦会員相互の意思疎通を図るため、年2回機関紙を発行する。
- ⑧会員に対して有益な情報発信をし得る利便性の高い方策を調査研究する。
- ⑨音楽著作権法の啓蒙活動を行うと共に、JASRAC著作権使用料の円滑な納付を促し、滞納防止を図る。
- ⑩文部科学省が提唱する「子どもの居場所づくり」キャンペーンの事業に賛同し、当連盟として実現可能な活動を研究・実践する。
- ⑪全国社交飲食業生活衛生同業組合連合

会と相互交流を行うと共に、その組織拡大に協力する。

●カラオケ使用者連盟では、音楽著作権使用料の滞納防止を呼びかけています。

カラオケを利用する店舗が支払っている音楽著作物使用料は、JASRACによって楽曲の権利者(作詞・作曲家等)へ分配され、新しい楽曲を創る

上で、大切な財源となっております。当連盟では、カラオケを利用する全ての店舗に、音楽著作物使用料の未払いや、滞納の防止を呼びかけています。

会員各位におかれましても、自店はもとより、同業他店に対しても使用料滞納の解消を促進いただきますよう、ご協力お願い致します。

カラオケ使用者連盟は、文部科学省が啓蒙・推進する『子どもの居場所づくり』キャンペーンを応援します。

カラオケ使用者連盟は、「子どもの居場所づくり」キャンペーンの趣旨に賛同し、本機関紙を通じて、キャンペーンの活動報告並びに会員各位が参加可能なイベント・活動等をご紹介します。

キャンペーンについてのお問い合わせ

文部科学省生涯学習政策局 子どもの居場所づくり推進室
〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1
TEL/03-5253-4111 (内線3282)
URL/http://www.ibasyo.com/

「子どもの居場所づくり」キャンペーンについて

文部科学省では、全国の学校で放課後や休日に地域の大人の協力を得て、「子どもの居場所」をつくり、スポー

ツや文化活動など多彩な活動が展開されるよう、家庭、地域、学校が一体となって取り組む「子どもの居場所づくり」キャンペーンを実施しています。このキャンペーンは、放課後や週末にスポーツや文化活動など、さまざま

平成16年度収支予算(案)
(自平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

【収入の部】		金額	備考
会費収入	20,000,000		
入会金	500,000		500円×1,000名
正会員費	19,500,000		3,000円×6,500名 (前年1,000名増5,500)
全費小収入	5,000,000		総務事業収入及び地方金 (425万円)
当期収入合計	25,000,000		
前期繰越額	7,672,559		
合計	32,672,559		

【支出の部】		金額	備考
事業費	21,100,000		
1) 会費費	1,000,000		総会、理事会他
2) 旅費・交通費	1,000,000		宿泊費、交通費
3) 広報費	800,000		機関紙発行
4) 事業推進費	2,000,000		生涯学習フェスティバル
5) 組織強化費	1,500,000		生涯学習フェスティバルをとおしての地域振興をとおしての
6) 市県活性化推進費	5,000,000		取組フェスティバル
7) 滞納処理費	4,800,000		全社連
8) 郵送協力費	5,000,000		全国カラオケ事業者協会
一般管理費	11,572,559		
1) 職員給与手当	5,700,000		本部事務所員18名、アルバイト
2) 福利厚生費	1,000,000		
3) 事務用品費	200,000		
4) 消耗品費	100,000		
5) 通信費	3,000,000		電話料金、郵送費
6) 印刷費	700,000		封筒、入会申込書
7) 渉外費	100,000		慶弔費
8) 運送費	200,000		
9) 雑当金	1,000,000		借入金手数料、振込手数料
予備費	472,559		
当期支出合計	32,672,559		
合計	32,672,559		

「子どもの居場所づくり」キャンペーン
文部科学省



シンボルマークは、大人たちが見守るフィールドの中で子どもたちがのびのび、いきいき輝く。そんな気持ちを表しています。

体験活動や地域住民との交流活動等を支援するために、全国4,000校の学校の校庭や教室などを活用して行われるものです。

Topics 『まなびピア愛媛2004』にカラオケ使用者連盟が参加。

第16回全国生涯学習フェスティバル『まなびピア愛媛2004』へ、今年も参加いたします。この催しは、文部科学省による教育界最大のイベントで、10月9日から13日までの5日間で約70万人を迎え、愛媛県民文化会館、アイテム愛媛を主会場に愛媛県内6市を拠点地として開催されます。当連盟は、「まなびピ

ア広島」「まなびピア三重」「まなびピア山形」「まなびピア石川」「まなびピア沖縄」に続き、今年で6年連続の参加となり、本年も「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」をアピールして参ります。

(詳細は、次回機関紙volume12にて掲載いたします。)

お客様へのサービスキャンペーン

「歌ってフェスタ2004」で 年末を盛り上げよう!!!

10月17日から、カラオケ業界挙げての「歌ってフェスタ2004」が開催されます。このキャンペーンは、「お店へお客様が来店する動機付け」、「カラオケを歌ってもらう動機付け」といったお店の活性化策として企画されたものです。

当連盟としましては、このキャンペーンが加盟店の利益につながる催しと考え、賛同し協賛致しております。

キャンペーン参加のための費用は一切かかりませんので、会員各位におかれましては、お客様獲得キャンペーンとしては是非とも有効にご活用下さい。



<キャンペーン内容>

①ポスターを、10月17日から年末までのキャンペーン開催期間中、お店の目立つ所に貼ってください。

②ご来店したお客様が、会計額5,000円以上支払った際に、専用応募ハガキをお渡しいただき、必要事項〔氏名・連絡先・住所・性別・年齢・職業・歌った曲名・対談及びデュエット希望の場合は、希望する歌手名・応募店/氏名・連絡先・歌った曲名の3項目は必須〕を記入していただき、下記いずれかの方法でお送り下さい。

- ・お客様が直接ハガキを送る。(お客様が切手代をご負担)
- ・お店でハガキを回収し、カラオケ使用者連盟本部事務所宛に一括で送付(平成17年1月5日必着)する。(ハガキ個々の切手代は不要です)
- ・取引カラオケ業者へ預ける。

③賞品総額は1,000万円。2月下旬の抽選会後、当選したお客様が出たお店へ賞品をお届けします。お店から当選者へ直接お渡し下さい。

参加団体・企業/カラオケ使用者連盟、全国カラオケ事業者協会、(株)エクシング、(株)セガ・ミュージックネットワークス、(株)第一興商、(株)タイトー、(株)ユーズ・BMBエンタテインメント、ビクターレジャーシステム

期間/平成16年10月17日~平成16年12月31日

対象/ポスター掲示店の利用者

賞品/【特別賞1】希望歌手との対談(1組)、【特別賞2】プロ歌手がお店に来て当選者とデュエット(10店)、
【A賞】10万円の旅行券(30名)、【B賞】5万円の旅行券(50名)、【C賞】3万円の旅行券(50名)、
【D賞】1万円の旅行券(100名)、【E賞】協賛メーカー提供商品(2,000名)

発表/平成17年2月下旬に厳正な抽選の上、特別賞1、特別賞2及びA~D賞については全国カラオケ事業者協会ホームページ(<http://www.japan-karaoke.com>)及び月刊カラオケファン5月号(3月発売)誌上で当選者を発表します。ただし、E賞については応募店からの通知をもって発表に替えさせていただきます。

ツール(ポスター・ハガキ)の追加はお早めに!

※ツールの追加はカラオケ使用者連盟本部事務所(TEL/03-3495-5695)へご連絡下さい。なくなり次第終了します。

キャンペーン用ツール(ポスター1枚、応募ハガキ50枚、開催要綱)は、本機関紙に同封。